【飼料】				
	作付体系及び単収	スーダングラス6,500kg/10ａ イタリアンライグラス6,300kg/10ａ	スーダングラス6,500kg/10ａ イタリアンライグラス6,300kg/10ａ	ソルガム6,500kg/10ａ イタリアンライグラス6,300kg/10ａ
	作付面積（延べ面積）※放牧利用を含む	11ha（13ha）	30ha（33ha）	16ha（32ha）
	外部化	―	―	コントラクター
	購入国産飼料	―	―	稲ＷＣＳ
	飼料自給率（国産飼料）	80％	80％	80％
	粗飼料給与率	80％	80％	80％
	経営内堆肥利用割合	10割	10割	10割
【人】				
労働	総労働時間 （うち主たる従事者の労働時間）	4,580時間 （1,800時間×２人）	3,490時間 （1,800時間×１人）	9,000時間 （1,800時間×３人）
労働	補助従事者		１人	
労働	雇用者	臨時雇用１人		常勤雇用２人
経営	粗収入	2,010万円	3,310万円	8,270万円
経営	経営費 （うち雇用労賃）	1,210万円 （80万円）	2,260万円 ―	5,740万円 （590万円）
経営	農業所得	800万円	1,050万円	2,540万円
経営	主たる従事者１人当たり所得	400万円	540万円	850万円
生産性	子牛１頭当たりの飼養労働時間 （現状平均規模との比較）	68時間 （63％）	51時間 （47％）	51時間 （47％）
生産性	子牛１頭当たり費用合計 （現状平均規模との比較）	339千円 （77％）	330千円 （75％）	322千円 （73％）

注：主たる従事者１人当たり所得は、法人等における内部留保等を計算上見込まず、農業所得を主たる従事者数で割って試算。
　　生産性の各平均値は、「畜産物生産費」等を使用して試算。
（参考）【牛】に関する現状値
　　繁殖雌牛（肉専用種）の分娩間隔：13.3ヵ月、初産月齢：24.4ヵ月齢、子牛（肉専用種）の出荷月齢：９ヵ月齢、出荷時体重：290kg

３．肉用牛（肥育・一貫）経営指標

	1	2	3
【経営類型の特徴】	飼料用米等の活用や増体能力に優れたもと畜の導入等により、生産性の向上や規模拡大を図る肉専用種肥育の家族経営	エコフィード等の活用や肥育牛の出荷月齢の早期化、繁殖・肥育一貫化による飼料費やもと畜費の低減等を図る肉専用種繁殖・肥育一貫の大規模法人経営	肥育牛の出荷月齢の早期化による飼料費等の低減や牛肉の地域ブランド化等により収益性の向上を図る交雑種・乳用種の育成・肥育一貫の大規模法人経営